

シリーズ2、庭木に利用 する樹種の特徴と管理 (9) —ヤマボウシ—

日本樹木医会富山県支部
樹木医 西村 正史

5月下旬から6月中旬にかけて里山では谷筋などで白い花をたくさん咲かせている木を見かけられるかと思います。これはヤマボウシという木です。近年、庭園などに植栽されることが多くなっています。

1. 特徴

この木は、ミズキ科ヤマボウシ属の落葉樹です。日本では本州と九州に、外国では朝鮮から中国に、それぞれ分布しています。樹高は成長しても5~10m程度です。日向を好みますが、半日陰でも育ち、寒さにも強い木です。この木はブナ林や里山の二次林内で、水はけがよくて適度な湿気がある肥沃な土壌でよく育ちます。

特徴のある花を咲かせますので、よく目立ちます(写真1、2)。4枚の花弁のように見えるのは総苞(そうほう)です。本来の花は総苞の中心に集まって咲いており、球のように見えます(写真1、2)。この球は秋になると赤く熟し(写真3)、おいしいので食用になります。葉は秋になると紅葉し、きれいです。花、実、紅葉と3回楽しむことができる優れたものです。

なお、和名は白い総苞が白い頭巾をかぶった「山法師」を連想することから付けられました。

2. 維持管理

この木は乾燥に弱いので、乾燥させないことが大切です。また、粘土質の土壌では根の張りが悪くなり、樹勢が低下しますので、土壌改良などをして水はけのよい状態にしましょう。庭木としては大きく育つので、周囲に十分な空間がとれる場所に植えましょう。このような場所では自然に樹形が整いますので、ほとんど剪定をすることはありません。肥料は落葉期の冬に油かすと骨粉を同量混ぜたものを株元にしましょう。

ヤマボウシに近縁な種類として、街路樹や庭園でよく見かけるものに、ハナミズキがあります。本誌183号2012.5に記載しましたので、参考にしてください。また、富山県中央植物園内の「雲南の植物」コーナーにはヤマボウシによく似た花を咲かせるヒマラヤヤマボウシという珍しい木もあります。こちらの花の色は黄色です。

なお、掲載した写真はすべて富山県中央植物園で撮影したものです。



写真1 ヤマボウシの花(2011.5.20撮影)



写真2 花の拡大写真(2011.5.20撮影)



写真3 ヤマボウシの実(2011.9.24撮影)